

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月13日

証券コード：9007

思う 誰かを 今日も



小田急電鉄株式会社

■ エグゼクティブサマリー・・・・・・・・・・・・・・・・	3
■ 2025年3月期 実績・・・・・・・・・・・・・・・・	4
■ 2026年3月期 予想・・・・・・・・・・・・・・・・	15
■ 株主還元・連結財務目標・・・・・・・・・・・・・・・・	24

エグゼクティブサマリー

2025年3月期 実績 (対前期)

- 営業収益 4,227億円 (+128億円) 百貨店業およびストア・小売業 13ヵ月間連結、交通業 輸送人員増
- 営業利益 514億円 (+ 6億円)
- 最終利益※ 519億円 (△295億円) 前期 特別利益 (小田急センチュリービル売却) の反動

2026年3月期 予想 (対前期)

- 営業収益 4,250億円 (+ 22億円) 交通業 輸送人員増、前期 13ヵ月間連結の反動
- 営業利益 530億円 (+ 15億円)
- 最終利益※ 350億円 (△169億円) 前期 特別利益 (UDS外部譲渡・相鉄HD株式売却) の反動

株主還元

- 配当 (1株当たり・予想)
2025年3月期：年間40円 (年間30円から配当予想を修正)
2026年3月期：年間50円
- 自己株式取得
2025年3月期：204億円

トピックス (2025年3月期)

- グループ通算制度適用 (2025年3月期～)
生活サービス業 (百貨店業およびストア・小売業) 決算期変更、13ヵ月間 (2024/3～2025/3) 連結
- 交通業 小田急箱根グループ再編 (2024/4/1)
- 不動産業 新宿駅西口地区開発計画の進捗に伴う新宿ミロード閉館 (2025/3/17～)
- 生活サービス業 UDSおよび沖縄UDS 連結除外 (第1四半期末)

2025年3月期 実績

連結損益計算書・主な指標

- 対前期実績：生活サービス業の13ヵ月間連結等で128億円増収も、前期の固定資産売却益（小田急センチュリービル）の反動により、最終利益※1は295億円減益
- 対2月予想：投資有価証券売却益（相鉄HD株式）の計上等により、最終利益※1は79億円増益

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	営業外損益・特別損益の増減・主な要因	2月時点予想	増減
営業収益	409,837	422,700	+12,863 (+3.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業外収益 固定資産税等精算金 2 (△775) 受取移転補償金 - (△1,143) ■ 営業外費用 租税公課 2 (△916) ■ 特別利益 関係会社株式売却益 17,179 (+16,205) 投資有価証券売却益 8,443 (+4,675) 固定資産売却益 415 (△59,592) ■ 特別損失 再開発関連費用 2,194 (△2,489) 減損損失 1,058 (△5,324) 	424,000	△1,299 (△0.3%)
営業利益	50,766	51,431	+664 (+1.3%)		51,000	+431 (+0.8%)
営業外収益	7,324	5,916	△1,408			
営業外費用	7,421	6,873	△547			
経常利益	50,670	50,474	△195 (△0.4%)		50,000	+474 (+0.9%)
特別利益	66,241	30,273	△35,968			
特別損失	15,301	8,693	△6,607			
親会社株主に帰属する当期純利益	81,524	51,958	△29,566 (△36.3%)		44,000	+7,958 (+18.1%)
設備投資額	83,402	65,388	△18,014		67,000	△1,611
減価償却費	45,785	43,954	△1,830		44,500	△545
有利子負債残高	626,950	652,789	+25,838		667,100	△14,310
有利子負債／EBITDA倍率	6.5倍	6.8倍	+0.3p		7.0倍	△0.2p
ROA※2	6.5%	4.1%	△2.4p		3.5%	+0.6p
ROE※3	20.3%	11.7%	△8.6p		10.1%	+1.6p

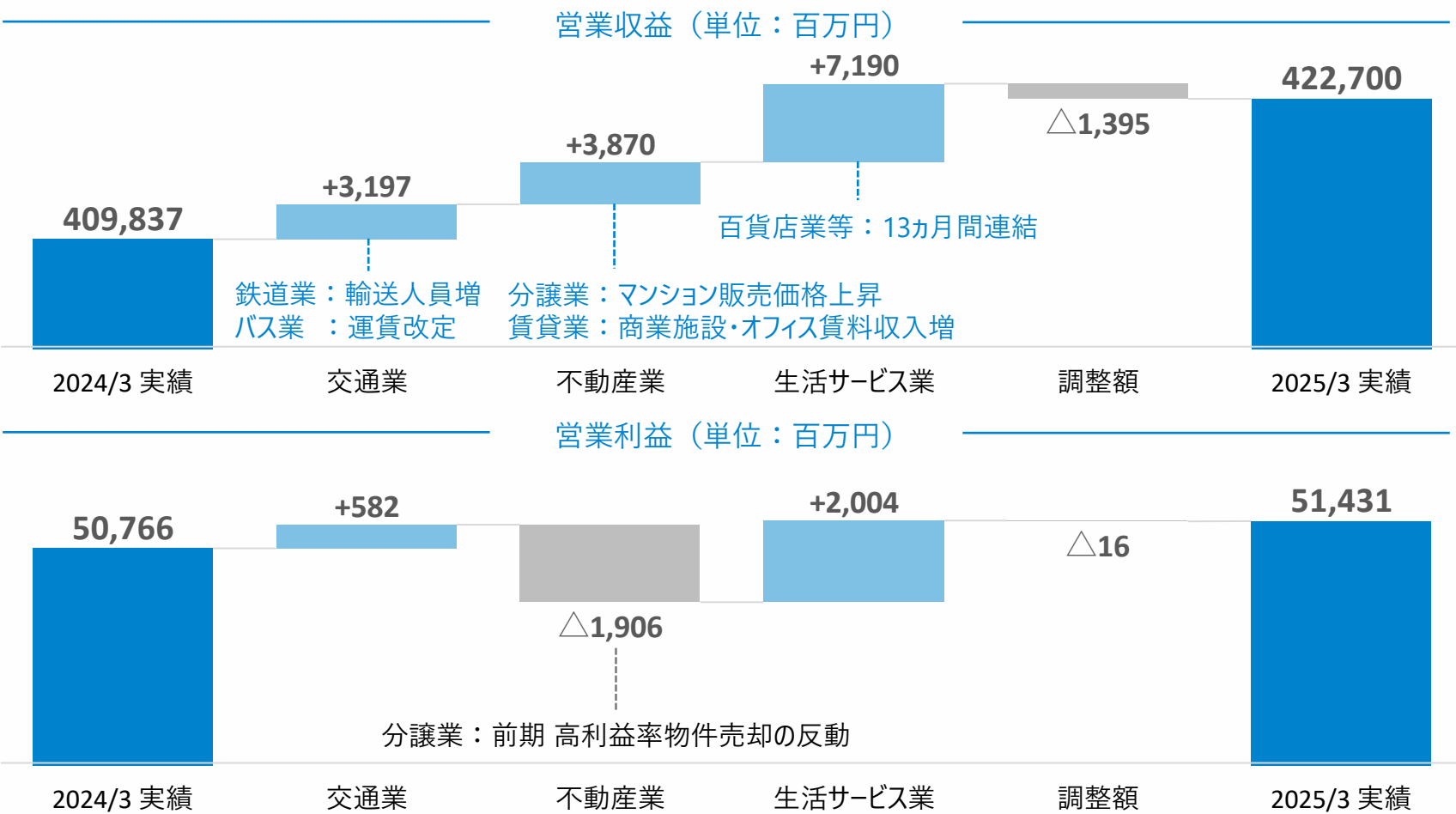
※1 親会社株主に帰属する当期純利益 ※2 親会社株主に帰属する当期純利益／総資産（有価証券評価差額除く）

※3 親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本（有価証券評価差額除く）

連結営業収益・連結営業利益の詳細（対前期）

- 交通業：鉄道業の輸送人員増やバス業の運賃改定等により、31億円増収、5億円増益
- 不動産業：分譲業のマンション価格上昇、賃貸業の商業・オフィス賃料増により38億円増収も、分譲業の前期高利益率物件売却の反動により、19億円減益
- 生活サービス業：グループ通算制度の適用に伴う百貨店業およびストア・小売業の13ヵ月間連結等により、71億円増収、20億円増益

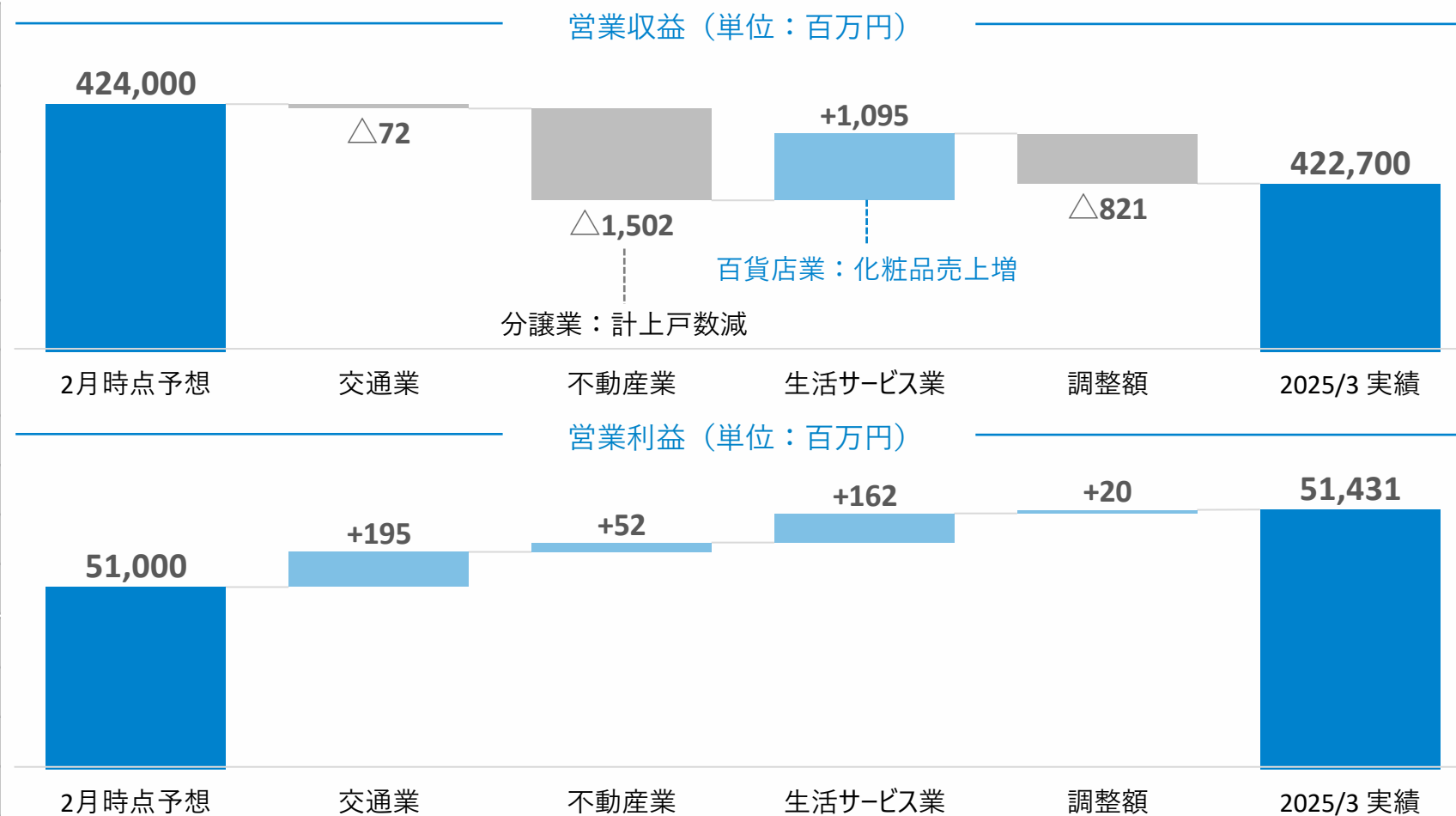
単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減
営業収益	409,837	422,700	+12,863 (+3.1%)
交通業	171,730	174,927	+3,197
不動産業	92,027	95,897	+3,870
生活サービス業	161,505	168,695	+7,190
調整額	△15,425	△16,821	△1,395
営業利益	50,766	51,431	+664 (+1.3%)
交通業	25,913	26,495	+582
不動産業	17,759	15,852	△1,906
生活サービス業	7,058	9,062	+2,004
調整額	36	20	△16
営業利益率	12.4%	12.2%	△0.2p
交通業	15.1%	15.1%	+0.0p
不動産業	19.3%	16.5%	△2.8p
生活サービス業	4.4%	5.4%	+1.0p



連結営業収益・連結営業利益の詳細（対2月時点予想）

- 交通業 : 7千万円減収、1億円増益
- 不動産業 : 分譲業の計上戸数減により15億円減収も、5千万円増益
- 生活サービス業 : 百貨店業の化粧品売上増等により10億円増収、1億円増益

単位：百万円	2月時点 予想	2025/3 実績	増減
営業収益	424,000	422,700	△1,299 (△0.3%)
交通業	175,000	174,927	△72
不動産業	97,400	95,897	△1,502
生活サービス業	167,600	168,695	+1,095
調整額	△16,000	△16,821	△821
営業利益	51,000	51,431	+431 (+0.8%)
交通業	26,300	26,495	+195
不動産業	15,800	15,852	+52
生活サービス業	8,900	9,062	+162
調整額	0	20	+20
営業利益率	12.0%	12.2%	+0.2p
交通業	15.0%	15.1%	+0.1p
不動産業	16.2%	16.5%	+0.3p
生活サービス業	5.3%	5.4%	+0.1p



2025年3月期 実績

連結貸借対照表

- 総資産：新宿駅西口地区開発計画の進捗に伴う建設仮勘定が増加も、現金及び預金の減少等により、前期末より15億円減少の1兆2,999億円
- 負債：有利子負債が増加も、新宿駅西口地区開発計画に係る未払金の減少等により、前期末より206億円減少の8,207億円
- 純資産：自己株式を取得も、親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末より190億円増加の4,792億円

単位：百万円		2024/3 実績	2025/3 実績	増減・主な要因	
	流動資産	173,118	141,096	△32,022	現金及び預金 △25,630
	固定資産	1,128,460	1,158,895	+30,435	建設仮勘定 +15,857 投資有価証券 +9,336
資産合計		1,301,578	1,299,991	△1,586	
	流動負債	396,422	344,331	△52,091	未払金 △33,784 有利子負債 △1,928
	固定負債	444,979	476,397	+31,417	有利子負債 +27,768
負債合計		841,402	820,728	△20,673	
純資産合計		460,176	479,263	+19,086	利益剰余金 +40,884 自己株式 △20,353
負債純資産合計		1,301,578	1,299,991	△1,586	
自己資本比率		35.3%	36.8%	+1.5p	

※ 2025年3月期より「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（改正企業会計基準第27号）等を適用したため、前期末実績を修正

連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フロー：法人税等の支払の増加等により、157億円の資金収入の減少
- 投資キャッシュ・フロー：設備投資支出の増加や固定資産売却収入の減少等により、979億円の資金支出の増加
- 財務キャッシュ・フロー：借入れ・社債の発行による収入の増加等により、950億円の資金支出の減少

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減・主な要因	
営業キャッシュ・フロー	71,626	55,877	△15,748	法人税等の支払の増加 △22,114
投資キャッシュ・フロー	23,435	△ 74,495	△97,931	設備投資支出の増加 △47,797 固定資産売却収入の減少 △74,312
フリーキャッシュ・フロー	95,062	△ 18,618	△113,680	
財務キャッシュ・フロー	△ 102,079	△ 7,040	+95,038	借入れ・社債の発行による収入の増加 +80,400
現金及び現金同等物の増減額	△ 7,017	△ 25,658	△18,641	
現金及び現金同等物の期末残高	60,532	34,952	△25,580	

- 対前期実績：鉄道業の輸送人員増やバス業の運賃改定等により、31億円増収、5億円増益
- 対2月予想：7千万円減収、1億円増益と予想並み

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減・主な要因		2月時点予想	増減・主な要因	
営業収益	171,730	174,927	+3,197 (+1.9%)		175,000	△72 (△0.0%)	
鉄道業	127,709	129,279	+1,569	(+)輸送人員増 (△)小田急箱根グループ再編※	129,200	+79	
バス業	34,538	36,552	+2,013	(+)運賃改定	36,300	+252	
その他	9,482	9,095	△386	(△)小田急箱根グループ再編※	9,500	△404	
営業利益	25,913	26,495	+582 (+2.2%)		26,300	+195 (+0.7%)	
鉄道業	22,269	21,383	△886	(△)設備更新費増	21,500	△116	
バス業	1,758	2,781	+1,023		2,500	+281	
その他	1,885	2,329	+444		2,300	+29	
設備投資額	26,946	41,922	+14,976				
減価償却費	30,507	29,996	△511				
資産	660,921	667,710	+6,788				
営業利益ROA	3.8%	4.0%	+0.2p				

※ 2024/4/1付の小田急箱根グループにおける組織再編に伴い、一部の事業を生活サービス業へ移管。
詳細は当社HPの「FAQ」に記載

小田急電鉄 運輸成績・営業費

■ 輸送人員

単位：千人	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	
定期	396,693	404,556	+7,863	(+2.0%)
通勤定期	281,953	287,344	+5,391	(+1.9%)
通学定期	114,740	117,212	+2,472	(+2.2%)
定期外	287,017	294,315	+7,298	(+2.5%)
合計	683,710	698,871	+15,161	(+2.2%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	
定期	41,488	42,454	+965	(+2.3%)
通勤定期	35,611	36,482	+870	(+2.4%)
通学定期	5,876	5,971	+94	(+1.6%)
定期外	71,426	72,854	+1,428	(+2.0%)
旅客運輸 収入計	112,915	115,309	+2,393	(+2.1%)
運輸雑収	3,086	3,199	+112	(+3.7%)
合計	116,002	118,508	+2,506	(+2.2%)

■ 営業費

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	
合計	95,087	97,635	+2,548	(+2.7%)
人件費	26,254	26,034	△219	(△0.8%)
修繕費	7,626	8,947	+1,321	(+17.3%)
動力費	6,066	6,793	+727	(+12.0%)
固定資産 除却費	1,232	2,406	+1,173	(+95.2%)
減価償却費	23,610	22,987	△622	(△2.6%)
その他	30,297	30,465	+168	(+0.6%)

観光収益（交通・不動産・生活サービスの内数）

■ 観光収益※

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	
観光収益	71,887	78,910	+7,022	(+9.8%)
うちインバウンド	19,470	24,285	+4,814	(+24.7%)

■ うち箱根エリア

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	
観光収益	24,387	28,138	+3,751	(+15.4%)
うちインバウンド	5,362	6,423	+1,060	(+19.8%)

※ 取扱高（免税）を含む

- 対前期実績：分譲業のマンション販売価格上昇、賃貸業の商業・オフィス賃料増により38億円増収も、分譲業の前期高利益率物件売却の反動により19億円減益
- 対2月予想：分譲業の計上戸数減により15億円減収も、5千万円増益

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減・主な要因	
営業収益	92,027	95,897	+3,870 (+4.2%)	
不動産分譲業	35,305	36,553	+1,248	(+)マンション販売価格上昇 (△)計上戸数減
不動産賃貸業	43,391	45,102	+1,710	(+)商業施設賃料収入増 (+)オフィス稼働率上昇
その他	13,329	14,242	+912	
営業利益	17,759	15,852	△1,906 (△10.7%)	
不動産分譲業	4,228	2,516	△1,711	(△)前期高利益率物件売却の反動 (△)販促費増
不動産賃貸業	12,856	12,657	△199	(△)水道光熱費増
その他	673	678	+4	

2月時点予想	増減・主な要因	
97,400	△1,502 (△1.5%)	
38,600	△2,046	(△)計上戸数減
44,900	+202	
13,900	+342	
15,800	+52 (+0.3%)	
2,600	△83	
12,600	+57	
600	+78	

設備投資額	49,130	18,573	△30,556
減価償却費	9,446	9,644	+197
資産	459,290	480,731	+21,441
営業利益ROA	4.0%	3.4%	△0.6p

不動産分譲業

■ 営業収益内訳

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減	
合計	35,305	36,553	+1,248	(+3.5%)
投資開発	9,918	9,108	△809	(△8.2%)
販売	14,012	14,296	+284	(+2.0%)
買取再販	4,340	5,860	+1,520	(+35.0%)
その他	7,034	7,287	+253	(+3.6%)

うち小田急不動産

■ 投資開発 売却件数

単位：件	2024/3 実績	2025/3 実績	増減
投資開発	4	3	△1

< 主な売却物件 >

	所在地	延床面積
小田急ロジスティクスセンター岡崎	愛知県岡崎市	24,328.27㎡

■ 買取再販 計上戸数

単位：区画、戸	2024/3 実績	2025/3 実績	増減
買取再販	14	13	△1

< 主な計上物件 >

	所在地
麻布霞町パークマンション	東京都港区
パークコート赤坂ザタワー	東京都港区

■ 販売 計上戸数

単位：区画、戸	2024/3 実績	2025/3 実績	増減
土地	10	39	+29
戸建	25	16	△9
マンション	216	155	△61
合計	251	210	△41

< 主な計上物件 >

	総戸数 (持分戸数)	引渡開始時期
リーフィアレジデンス麻生五月台	87	2024年1月
リーフィアレジデンス練馬中村橋	67	2024年8月
リーフィアレジデンス古淵	34	2024年12月
リーフィアレジデンス調布小島町	50	2025年3月

- 対前期実績：ホテル業の第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外も、百貨店業およびストア・小売業の13ヵ月間連結等により、71億円増収、20億円増益
- 対2月予想：百貨店業の化粧品売上増等により10億円増収、1億円増益

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	増減・主な要因		2月時点予想	増減・主な要因	
営業収益	161,505	168,695	+7,190 (+4.5%)		167,600	+1,095 (+0.7%)	
百貨店業	24,061	27,774	+3,713	(+)小田急百貨店 決算期変更(+31億円)※	26,800	+974	(+)化粧品売上増
ストア・小売業	62,437	70,406	+7,969	(+)小田急商事 決算期変更(+53億円)※	70,300	+106	
ホテル業	25,146	17,185	△7,961	(△)第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外 (+)客室単価・稼働率上昇	17,200	△14	
レストラン飲食業	15,058	17,128	+2,069	(+)ゼロプランニングサービス吸収合併	17,100	+28	
その他	34,801	36,201	+1,400	(+)小田急箱根グループ再編(新規連結等) (△)第1四半期末UDS(企画設計等)連結除外	36,200	+1	
営業利益	7,058	9,062	+2,004 (+28.4%)		8,900	+162 (+1.8%)	
百貨店業	41	1,582	+1,540		1,700	△117	
ストア・小売業	1,848	1,809	△38		2,000	△190	
ホテル業	3,040	2,914	△125		2,800	+114	
レストラン飲食業	129	300	+170		300	+0	
その他	1,998	2,456	+457		2,100	+356	
設備投資額	7,325	4,891	△2,434				
減価償却費	5,887	4,349	△1,537				
資産	144,491	119,759	△24,732				
営業利益ROA	4.8%	6.9%	+2.1p				

※ 2025年3月期よりグループ通算制度を適用したため、小田急百貨店および小田急商事の決算期を2月から3月に変更。
これに伴い、2025年3月期は13ヵ月間（2024/3～2025/3）を連結

百貨店業

■ 小田急百貨店 取扱高※（対前期）

単位：百万円	2025/3 実績	増減
新宿店	35,775	+2.3%
町田店	31,894	△0.6%
ふじさわ	6,278	+3.3%
合計	73,948	+1.1%

※ 前期数値を補正し、13ヵ月間で比較

ストア・小売業

■ 小田急商事 営業収益※（対前期）

	増減
全事業	+3.9%
うちストア部門	+4.9%

※ 前期数値を補正し、13ヵ月間で比較

ホテル業

■ 客室稼働率

	2024/3 実績	2025/3 実績	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	88.0%	89.9%	+1.9p
山のホテル	69.0%	72.3%	+3.3p
箱根ハイランドホテル	64.4%	63.2%	△1.2p
はつはな	60.2%	67.5%	+7.3p
箱根ゆとわ	79.9%	79.7%	△0.2p
HOTEL CLAD	70.8%	79.6%	+8.8p

（参考）箱根エリアホテル※ 平均客室単価 対前期+4.2%

※ 山のホテル・箱根ハイランドホテル・はつはな・箱根ゆとわ・HOTEL CLAD

■ 外国人宿泊者比率

	2024/3 実績	2025/3 実績	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	82.3%	87.9%	+5.6p
山のホテル	19.7%	24.5%	+4.8p
箱根ハイランドホテル	14.8%	16.0%	+1.2p
はつはな	19.2%	24.9%	+5.7p
箱根ゆとわ	54.2%	52.8%	△1.4p
HOTEL CLAD	50.3%	57.2%	+6.9p

交通

- 鉄道業（小田急電鉄）
輸送人員：定期+0.1%、定期外+1.0%、合計+0.5%
運輸収入：定期+0.2%、定期外+1.4%、旅客運輸収入計+0.9%

不動産

- 不動産分譲業（小田急不動産）
販売業：計上予定戸数 240戸（+30戸）
買取再販業：計上予定戸数 16戸（+3戸）
- 不動産賃貸業
新宿駅西口地区開発計画の進捗に伴う新宿ミロード閉館（2025/3/17～）
収益△14億円 利益△9億円

生活
サービス

- 百貨店業およびストア・小売業
前期13ヵ月間連結の反動 収益△84億円 利益△4億円
- ホテル業等
UDS・沖縄UDS連結除外（前第1四半期末）

2026年3月期 予想

連結損益計算書・主な指標（対前期）

- 営業収益：生活サービス業の前期13ヵ月間連結の反動も、交通業の輸送人員増や不動産業の計上予定戸数増により、22億円増収の4,250億円
- 営業利益：交通業を中心とした増益が寄与し、15億円増益の530億円
- 最終利益※1：前期の関係会社株式売却益（UDS外部譲渡）および投資有価証券売却益（相鉄HD株式）の反動等により、169億円減益の350億円

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減
営業収益	422,700	425,000	+2,299 (+0.5%)
営業利益	51,431	53,000	+1,568 (+3.0%)
経常利益	50,474	51,000	+525 (+1.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	51,958	35,000	△16,958 (△32.6%)
設備投資額	65,388	96,800	+31,411
減価償却費	43,954	45,100	+1,145
有利子負債残高	652,789	713,300	+60,510
有利子負債／EBITDA倍率	6.8倍	7.3倍	+0.5p
ROA※2	4.1%	2.7%	△1.4p
ROE※3	11.7%	7.7%	△4.0p

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 親会社株主に帰属する当期純利益／総資産（有価証券評価差額除く）

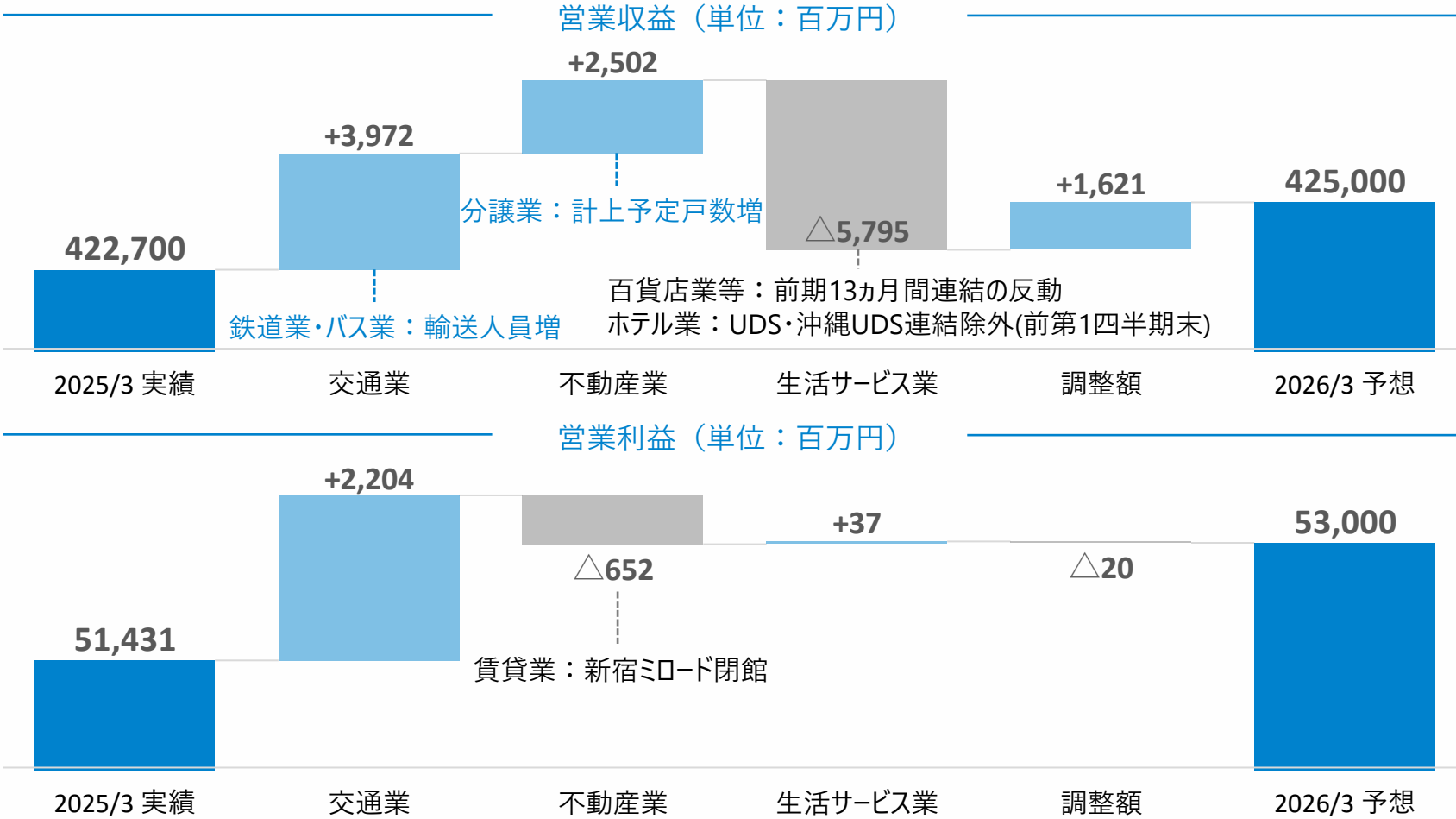
※3 親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本（有価証券評価差額除く）

2026年3月期 予想

連結営業収益・連結営業利益予想の詳細（対前期）

- 交通業：鉄道業およびバス業の輸送人員増等により、39億円増収、22億円増益
- 不動産業：分譲業の計上予定戸数増により25億円増収も、賃貸業の新宿駅西口地区開発計画進捗に伴う新宿ミロード閉館等により、6億円減益
- 生活サービス業：百貨店業やストア・小売業の前期13ヵ月間連結の反動やホテル業の前第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外により、57億円減収、3千万円増益

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減
営業収益	422,700	425,000	+2,299 (+0.5%)
交通業	174,927	178,900	+3,972
不動産業	95,897	98,400	+2,502
生活サービス業	168,695	162,900	△5,795
調整額	△16,821	△15,200	+1,621
営業利益	51,431	53,000	+1,568 (+3.0%)
交通業	26,495	28,700	+2,204
不動産業	15,852	15,200	△652
生活サービス業	9,062	9,100	+37
調整額	20	0	△20
営業利益率	12.2%	12.5%	+0.3p
交通業	15.1%	16.0%	+0.9p
不動産業	16.5%	15.4%	△1.1p
生活サービス業	5.4%	5.6%	+0.2p



2026年3月期 予想

セグメント情報（交通業）

- 営業収益：鉄道業およびバス業の輸送人員増等により、39億円増収の1,789億円
- 営業利益：バス業の人件費増も、増収により、22億円増益の287億円

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減・主な要因	
営業収益	174,927	178,900	+3,972 (+2.3%)	
鉄道業	129,279	130,900	+1,620	(+)輸送人員増
バス業	36,552	37,900	+1,347	(+)輸送人員増 (+)運賃改定
その他	9,095	10,100	+1,004	
営業利益	26,495	28,700	+2,204 (+8.3%)	
鉄道業	21,383	23,200	+1,816	
バス業	2,781	2,600	△181	(△)人件費増
その他	2,329	2,900	+570	
設備投資額	41,922	58,800	+16,877	
減価償却費	29,996	30,400	+403	
営業利益ROA	4.0%	4.2%	+0.2p	

2026年3月期 予想

セグメント情報（交通業） 主な指標

小田急電鉄 運輸成績・営業費

■ 輸送人員

単位：千人	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	
定期	404,556	405,058	+502	(+0.1%)
通勤定期	287,344	288,010	+666	(+0.2%)
通学定期	117,212	117,048	△164	(△0.1%)
定期外	294,315	297,153	+2,838	(+1.0%)
合計	698,871	702,211	+3,340	(+0.5%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	
定期	42,454	42,550	+96	(+0.2%)
通勤定期	36,482	36,579	+97	(+0.3%)
通学定期	5,971	5,970	△0	(△0.0%)
定期外	72,854	73,848	+993	(+1.4%)
旅客運輸 収入計	115,309	116,398	+1,089	(+0.9%)
運輸雑収	3,199	3,227	+27	(+0.9%)
合計	118,508	119,626	+1,117	(+0.9%)

■ 営業費

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	
合計	97,635	97,040	△594	(△0.6%)
人件費	26,034	26,835	+801	(+3.1%)
修繕費	8,947	9,093	+145	(+1.6%)
動力費	6,793	6,839	+46	(+0.7%)
固定資産 除却費	2,406	1,700	△705	(△29.3%)
減価償却費	22,987	23,294	+306	(+1.3%)
その他	30,465	29,276	△1,189	(△3.9%)

観光収益（交通・不動産・生活サービスの内数）

■ 観光収益※

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	
観光収益	78,910	81,276	+2,366	(+3.0%)
うちインバウンド	24,285	24,644	+359	(+1.5%)

■ うち箱根エリア

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	
観光収益	28,138	29,231	+1,092	(+3.9%)
うちインバウンド	6,423	6,892	+469	(+7.3%)

※ 取扱高（免税）を含む

2026年3月期 予想

セグメント情報（不動産業）

■ 営業収益：分譲業の計上予定戸数増等により、25億円増収の984億円

■ 営業利益：分譲業の投資開発物件規模減、賃貸業の新宿駅西口地区開発計画進捗に伴う新宿ミロード閉館等により、6億円減益の152億円

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減・主な要因	
営業収益	95,897	98,400	+2,502 (+2.6%)	
不動産分譲業	36,553	40,600	+4,046	(+)計上予定戸数増 (△)投資開発 物件規模減
不動産賃貸業	45,102	44,200	△902	(△)新宿駅西口地区開発計画進捗に伴う新宿ミロード閉館（2025/3/17～） (+)商業施設・オフィス賃料収入増
その他	14,242	13,600	△642	
営業利益	15,852	15,200	△652 (△4.1%)	
不動産分譲業	2,516	2,500	△16	
不動産賃貸業	12,657	12,200	△457	
その他	678	500	△178	
設備投資額	18,573	25,400	+6,826	
減価償却費	9,644	10,000	+355	
営業利益ROA	3.4%	3.0%	△0.4p	

不動産分譲業

■ 営業収益内訳

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	
合計	36,553	40,600	+4,046	(+11.1%)
投資開発	9,108	6,200	△2,908	(△31.9%)
販売	14,296	17,900	+3,603	(+25.2%)
買取再販	5,860	8,500	+2,639	(+45.0%)
その他	7,287	8,000	+712	(+9.8%)

うち小田急不動産

■ 投資開発 売却予定件数

単位：件	2025/3 実績	2026/3 予想	増減
投資開発	3	3	-

< 主な売却予定物件 >	所在地	延床面積
小田急ロジスティクスセンター福岡志免	福岡県糟屋郡志免町	11,366.05㎡

■ 買取再販 計上予定戸数

単位：区画、戸	2025/3 実績	2026/3 予想	増減
買取再販	13	16	+3

< 主な計上予定物件 >	所在地
アークヒルズ仙石山レジデンス	東京都港区
三田グランドヒルズ	東京都港区

■ 販売 計上予定戸数

単位：区画、戸	2025/3 実績	2026/3 予想	増減
土地	39	21	△18
戸建	16	36	+20
マンション	155	183	+28
合計	210	240	+30

< 主な計上予定物件 >	総戸数 (持分戸数)	引渡開始時期 (予定)
リーフィアレジデンス練馬中村橋	67	2024年8月
リーフィアレジデンス八王子北野	48	2025年1月
リーフィアレジデンス調布小島町	50	2025年3月
パークタワー向ヶ丘遊園	75	2025年12月

2026年3月期 予想

セグメント情報（生活サービス業）

- 営業収益：百貨店業およびストア・小売業の前期13ヵ月間連結の反動や、ホテル業の前第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外等により、57億円減収の1,629億円
- 営業利益：3千万円増益の91億円

単位：百万円	2025/3 実績	2026/3 予想	増減・主な要因	
営業収益	168,695	162,900	△5,795 (△3.4%)	
百貨店業	27,774	24,300	△3,474	(△)前期 小田急百貨店 決算期変更(△31億円)※
ストア・小売業	70,406	69,400	△1,006	(△)前期 小田急商事 決算期変更(△53億円)※ (+)既存店収益向上・新規出店
ホテル業	17,185	14,700	△2,485	(△)前第1四半期末UDS・沖縄UDS連結除外 (+)客室単価・稼働率上昇
レストラン飲食業	17,128	17,000	△128	
その他	36,201	37,500	+1,298	
営業利益	9,062	9,100	+37 (+0.4%)	
百貨店業	1,582	1,500	△82	
ストア・小売業	1,809	2,000	+190	
ホテル業	2,914	2,800	△114	
レストラン飲食業	300	500	+199	
その他	2,456	2,300	△156	
設備投資額	4,891	12,600	+7,708	
減価償却費	4,349	4,700	+350	
営業利益ROA	6.9%	7.4%	+0.5p	

※ 2025年3月期よりグループ通算制度を適用したため、小田急百貨店および小田急商事の決算期を2月から3月に変更。
これに伴い、2025年3月期は13ヵ月間（2024/3～2025/3）を連結

百貨店業

■ 小田急百貨店 取扱高※（対前期）

単位：百万円	2026/3 予想	増減
新宿店	32,381	+1.4%
町田店	29,961	+2.3%
ふじさわ	5,672	△2.2%
合計	68,014	+1.5%

※ 前期数値を補正し、12ヵ月間で比較

ストア・小売業

■ 小田急商事 営業収益※（対前期）

	増減
全事業	+6.7%
うちストア部門	+7.7%

※ 前期数値を補正し、12ヵ月間で比較

ホテル業

■ 客室稼働率

	2025/3 実績	2026/3 予想	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	89.9%	91.4%	+1.5p
山のホテル	72.3%	78.0%	+5.7p
はつはな	67.5%	74.0%	+6.5p
箱根ゆとわ	79.7%	82.3%	+2.6p
HOTEL CLAD	79.6%	81.3%	+1.7p

（参考）箱根エリアホテル※ 平均客室単価 対前期+2.1%

※ 山のホテル・はつはな・箱根ゆとわ・HOTEL CLAD

※ 箱根ハイランドホテルはリニューアルのため2025年5月7日より休館

基本方針 (2023～2026年度)

- 自己資本比率30%の確保を前提に、2023～2026年度の平均で、連結総還元性向40%以上※を目標とした安定的な配当および機動的な自己株式取得を実施
※4ヵ年合計総還元額／4ヵ年合計親会社株主に帰属する当期純利益額≧40%

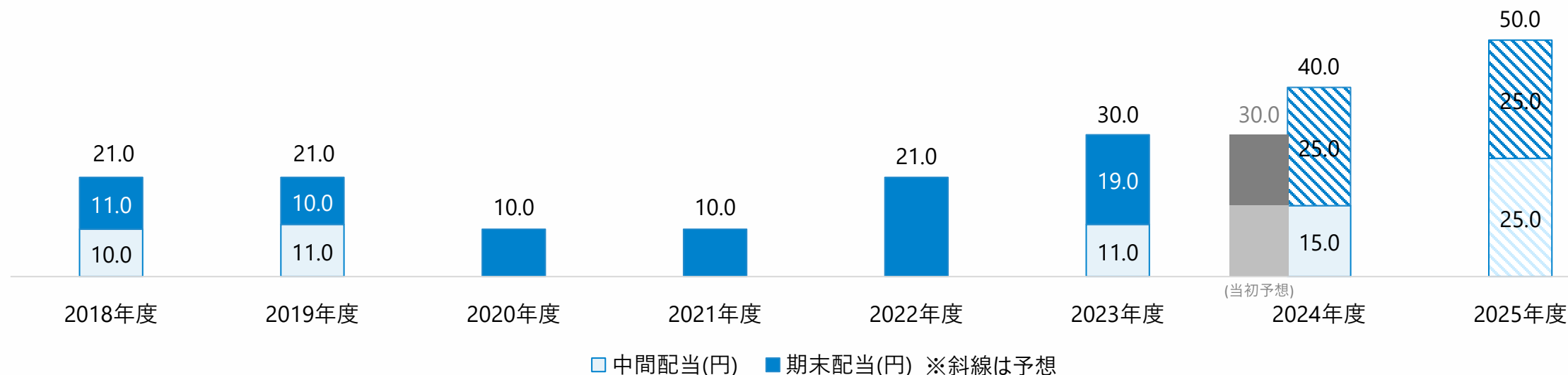
配当

- 2024年度：1株当たり年間40円を予定（年間30円から配当予想を修正）
- 2025年度：1株当たり年間50円を予定

自己株式取得

- 経営環境の変化や業績等を総合的に勘案したうえで実施時期を検討
- 金融機関等の当社株式売却による、株式需給バランス悪化への対応も考慮
(取得実績) 2023年度・2024年度合計：327億円

1株当たり配当金の推移（予想含む）



連結財務目標

ROE※

- 2026年度：8.0% 2030年度：10%以上

※ 親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本（有価証券評価差額除く）

2026年度までは特別利益の減少により一時低下も、ROA向上や財務レバレッジ拡大により、2030年度 10%以上へ伸長

営業利益

- 2026年度：540億円 2030年度：800億円

2026年度までは緩やかに増益も、観光や不動産の成長、当社鉄道事業運賃改定を目指し、2030年度 800億円へ伸長

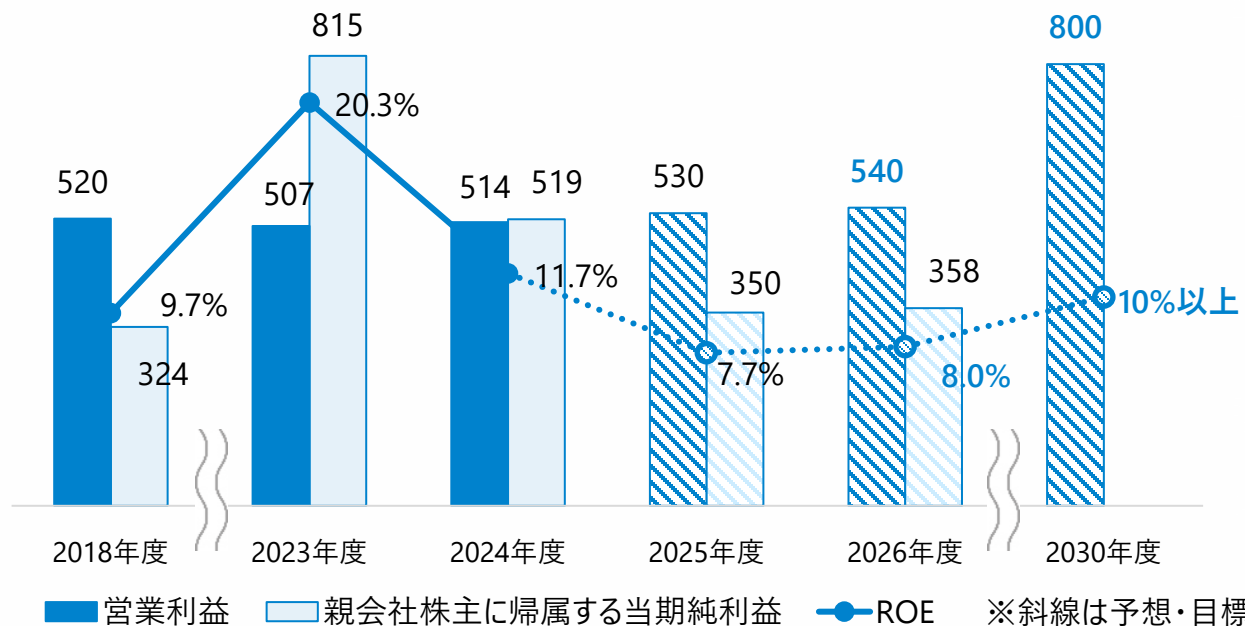
有利子負債／EBITDA倍率

- 2026年度および2030年度：7倍台でコントロール

成長分野への積極投資による有利子負債残高増に伴い上昇傾向も、2030年度まで継続的に7倍台でコントロール

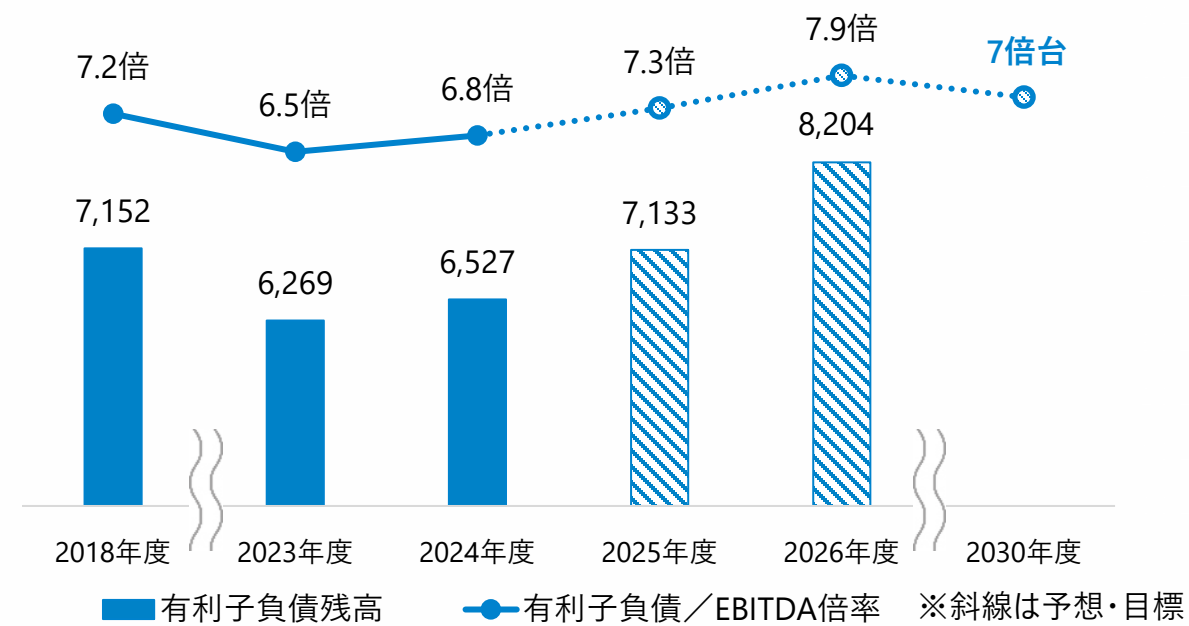
収益性

(単位：億円)



財務健全性

(単位：億円)



単位：百万円	2025/3 中間期 実績	2026/3 中間期 予想	増減
営業収益	209,744	200,000	△9,744 (△4.6%)
交通業	87,139	89,800	+2,660
鉄道業	64,702	66,000	+1,297
バス業	18,309	19,100	+790
その他	4,126	4,700	+573
不動産業	41,979	38,700	△3,279
不動産分譲業	13,573	10,700	△2,873
不動産賃貸業	22,173	21,800	△373
その他	6,232	6,200	△32
生活サービス業	88,019	79,000	△9,019
百貨店業	14,563	11,700	△2,863
ストア・小売業	37,537	34,200	△3,337
ホテル業	9,831	7,100	△2,731
レストラン飲食業	8,547	8,400	△147
その他	17,539	17,600	+60
調整額	△7,393	△7,500	△106

単位：百万円	2025/3 中間期 実績	2026/3 中間期 予想	増減
営業利益	29,037	27,000	△2,037 (△7.0%)
交通業	17,250	17,800	+549
鉄道業	14,489	15,100	+610
バス業	1,644	1,500	△144
その他	1,116	1,200	+83
不動産業	7,244	5,600	△1,644
不動産分譲業	974	△600	△1,574
不動産賃貸業	6,312	6,200	△112
その他	△42	0	+42
生活サービス業	4,531	3,600	△931
百貨店業	822	500	△322
ストア・小売業	1,110	900	△210
ホテル業	1,461	1,400	△61
レストラン飲食業	107	100	△7
その他	1,028	700	△328
調整額	10	0	△10
経常利益	29,770	27,000	△2,770 (△9.3%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	32,980	21,000	△11,980 (△36.3%)

■ ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」(<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>)に掲載しています。

- ・決算短信
- ・決算に関するFAQ

■ 注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは公表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社